

13年4-12月期決算、近海部門は損失拡大

川崎近海、内航部門好調で営業利益7.5%増加

Edited By LogisticsToday On 2014/01/31

川崎近海汽船が1月31日に発表した2013年4-12月期決算は、近海船部門が低迷したものの、内航部門が好調だったことで全体の営業利益は7.5%の増益となった。

内航部門は石灰石専用船、石炭専用船がともに安定稼働し、小型貨物船も荷動きが活発化したことから高稼働となった。近海部門は、市況の低迷で営業損失が前年同期の7億4000万円から8億9200万円へと悪化した。

[川崎近海汽船] 2014年3月期第3四半期連結決算（単位：百万円）

	2014年3月期第3四半期	2013年3月期第3四半期	増減
売上高	34,318	32,111	6.9%
営業利益	1,695	1,577	7.5%
経常利益	1,674	1,477	13.4%
当期純利益	1,081	967	11.7%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/93547>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.